

〈人口〉	
男	8,927人
女	9,152人
計	18,079人
世帯数	4,137戸

広報あまのり

発行所 麻生町1561-9
印刷所 電話0811代

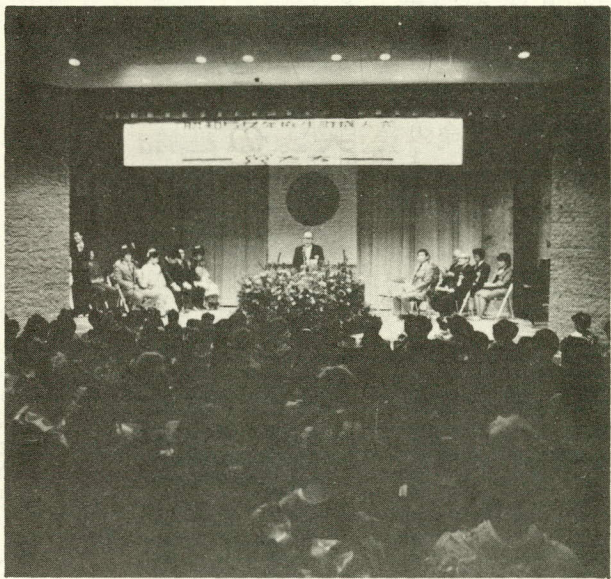
麻生町役場蔵刷
麻沼幸印
麻小生

2月	2日	簡易水道推進委員会
9日	9日	地域農政推進説明会
10日	10日	民生委員協議会
11日	11日	建国記念の日
12日	12日	集荷業者会議
16日	16日	町県民税・所得税申告受付開始
22日	22日	農免道路促進委員会
25日	25日	農業委員会総会
		西部土地改良推進委員会
		教育委員会

限りなき大空へ—翼たち—

成人の日

公民館に240名集う



大ホールでの式典の模様

成人の日の一月十五日、公民館に二百四十名の青年男女が集り成人式が行なわれた。都合で参加できなかった人たちも含め、この日麻生町では三百二十一名が成人を迎えた。

式典は成人者代表により進行され、町長の式辞、来賓のあたたかい励ましの祝辞に続いての各地区の成人者代表による感想発表は、いずれも大人になったことの自覚と、将来

年金還元融資を 受けている水道事業

麻生町全体計画の第一期工事として、現在麻生町第一簡易水道事業も着々と進んでいる。この水道事業は、国・県の補助金と年金積立金の還元融資を受けて実施されています。

土地取引の前に届出を

五千㎡以上は契約の
六週間前までに届出

土地の投機的な取引や地価の高騰を抑制し、乱開発を未然に防ぐため、土地取引について届出制を設けています。麻生町全域で五千㎡以上の土地の取引をしようとするときは、国土利用計画法により、契約を結ぶ六週間前までに、土地売買届出書を役場を経由して県知事に提出しなければ

助産費支給が十万円に

第一回臨時町議会

昭和五十七年第一回臨時議会が一月十九日午後二時から開かれ、条例の一部を改正する条例四件と、昭和五十六年度一般会計補正予算について審議が行われ原案どおり可決されました。

〔議案第1号〕
麻生町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
〔議案第2号〕
麻生町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

〔議案第3号〕
教育長の給与・勤務時間及びその他の勤務条例の一部を改正する条例
以上の三議案は、議会議員常勤の特別職、教育長の期末手当について、一般の職員の給与に関する条例を準用しての期末手当の支給率について、ただし書により百分の百九十とされていたが、一般の職員の支給率が百分の二百から百分の百九十に改訂されたため、ただし書部分を削除したものです。

〔議案第4号〕
麻生町国民健康保険条例の一部を改正する条例
被保険者が出産したときは世帯主に対して助産費として八万円を支給していましたがこの額を十万円に改めたもので、昭和五十七年三月一日以後の出産について適用されます。

〔議案第5号〕
昭和五十六年度麻生町一般会計歳入歳出補正予算（第六号）
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ二百万円を追加し、歳入歳出それぞれ、三十一億六千二百六十九万九千九百九十九円とします。

たのしい舞台ゆたかな心

こども音楽会

3月15日

子供のころ見たたり聞いたりした舞台芸術の感激は、大きくなってもいつまでも心に残るものです。

その感激をできるだけ多くの子供たちに、そして、豊かな情操を養い健やかな成長をと、文化庁と茨城県教育委員会、麻生町教育委員会との共催により、三月十五日、麻生小学校体育館で「こども音楽会」が開催されます。

この「こども音楽会」の内容は、荒谷俊治指揮の東京フィルハーモニー交響楽団の演奏で、曲目は、「白鳥の湖」「美しく青きドナウ」など六曲です。

町内の小学五年生から中学三年生までの千二百人が鑑賞する予定になっています。

現在はテレビやステレオで音楽を聞くことは多いと思いますが、直接オーケストラを聞く機会は地域的にみても少ないのではないかと思います。目の前のオーケストラの迫力は永く心に残ることと思います。

検察審査員の 候補者を選任

候補者を選任

麻生町選挙管理委員会ではこのたび次の方を検察審査員の候補者に選任しました。

候補者は、衆議院議員の選挙権をもっている人の中からくじで選ばれたものです。

さらにこの中から一割の方がくじで、検察審査員又は補充員に選ばれますので、選任されたときは、住民として健全な常識を備えていれば十分任務を果せますのでよろしくお願ひします。（敬称略）

候補者	候補者	候補者	候補者	候補者
箕輪 喜次	根本 ノブ	小沼 勝子	茂木 満子	金田 貞安
今泉 旭	鬼沢 昭	市村 勝己	茂木 勝己	橋本 昭
門 並	島 下	於 崎	宇 鹿	石 神
麻 生	麻 生	麻 生	麻 生	麻 生



霞ヶ浦・北浦清掃大作戦 町内大清掃の実施

3月7日(日) 午前8時開始

一戸一名必ず参加しましょう

春期全国火災予防運動 2月28日～3月13日

冬から春先にかけて空気が乾燥し、風の強い日が多くなります。充分火の元に注意しましょう。

毎月1日は「交通安全の日」

月の始めに家庭・学校及び職場で交通安全意識啓発のための活動を充実強化し交通事故を抑止し、交通安全を確保するため「交通安全の日」が設定されました。

国の進学ローンの

ご案内

国民金融公庫では、進学時の経済的負担を軽減し、教育の機会均等の一助にとの目的で、昭和五十四年一月から「国の進学ローン」の取扱をし、**利率** 年八・三％（変更になることもあります）。**保証人** 一名以上、保証人のかわりに保証基金の利用もで

返済方法 毎月元利均等返済
(希望によりボーナス月増額
返済を併用できます)
取扱期間 今春進学の方は昭和
五十七年一月〜四月まで。
その他くわしいことは、国
民金融公庫土浦支店にご相談
ください。(土浦市中央一丁
目一の二十六 電話〇二九八
(22) 四一四一)

共同募金の結果を

報告します

婦人会及び区長他関係者の皆様に協力をいただき、十二月末日までに、総額三百七十二万六千二百八十六円の共同募金（歳末募金も含む）が集められました。

内訳は

戸別募金（三、六八五戸）
一、八八六、二〇〇円
その他の募金
一、八四〇、〇八六円
この募金の中より、二百三

十七万五千四百二十九円は、長い間の入院、入所者、寝たきり老人、一人ぐらしの老人の方々に麻生町歳末慰問金として贈りました。

また、百三十五万八百五十七円を、茨城県共同募金会へ送金し、このお金は、県内の各施設へ配分される予定です。

科学万博

図画作文コンクール

入賞者発表

茨城県では、昨年、県内の小中学生を対象に「科学万博に関する図画・作文コンクール」を実施し、その入賞作品を発表しました。

このコンクールは「みんなで開く・みんなの科学万博」という呼びかけで、「わたしの夢と科学万博」をテーマに未来の科学技術によせる夢や希望やアイデアを書いた作品を募集したものです。

応募作品は、いずれも、子供らしい夢や期待にあふれるもので、町内の小中学校からは次のとおり入賞しました。

○図画の部（県全体の対募総数四、七六五点）

優秀賞 未来のロボットハウス、大和第一小四年 高須達也

○作文の部（県全体の応募総数一、二二九点）

優秀賞 世界は今一つに 麻生第一中二年 宮内春代

入選 科学万博に思う 麻生中一年 畠山きはる

科学万博

図画作文コンクール

入賞者発表

一天の雲なく明けて四方の春
 瞑想の今昔去来寝正月
 稚児の爪桜貝色今朝の春
 短歌
 わかさぎのとれなき湖に出てみれば
 秋の風吹く夕暮はやし
 福の神になりし思いの船内に
 大黒舞の唄がはずめり
 軒下に立てる一灯が照らし出す
 歪む舗道にあるけものみち
 母がとかした娘の髪が
 日向明るく春を待つ
 寒い北風こらえて立つて
 桜大樹が春を待つ
 春の息吹きを早咲き梅に
 心ゆたかに春を待つ
 鴨下 透水
 深見 雪花
 龜山 春菜
 男庭 留吉
 箕輪 憲夫
 平野寿美子
 羽生 藤平
 金田 幸恵
 金田 とく

俚
謡

母がとかした娘の髪が
日向明るく春を待つ
寒い北風こらえて立つて
桜大樹が春を待つ
春の息吹きを早咲き梅に
心ゆたかに春を待つ

 m^2

公設の鹿島地方卸売市場

買受人・買出人を募集

公設鹿島地方御売市場組合
では、開設を四月二日に予定
し、買受人、買出人を募集し
ます。

○位置 神栖町大字平泉一二
三番地
○総面積 六万三千百八十三
一萬二千トン。

○供給人口 二十四万人（昭
和六十年度）
○取扱高予想（昭和六十年
度） 野菜約二万トン、果実約

受付開始

昭和五十七年二月十五日か

受付場所

神栖町役場内 公設鹿島地

方卸売市

電話 〇二
内線 四

申請書

用紙は

ます。

申請要

合におた
卸売市場

○開設者

市場組合

波崎町の

県ろう団体連合会では、聴
力障害者の福祉に理解と熱意
を持つ方を対象に受講生を募
集しています。受講料は無料
です。

とき 昭和五十七年二月六日
(土) から六ヶ月間、毎週十
曜日 午後二時～四時
ところ 鹿島町老人福祉セン

ター集會室
募集人員 初級四十名
申込方法 随時受付ますので
鹿島町社会福祉協議会へ直接
印鑑を持参して申し込み下さ
い。下さい。
(電話〇二九九八(2)二九一一
内線二六六番)

手話奉仕員の養成講座

受講生を募集

[illegible]

戸籍の窓□

おめいじいばあちゃん

